

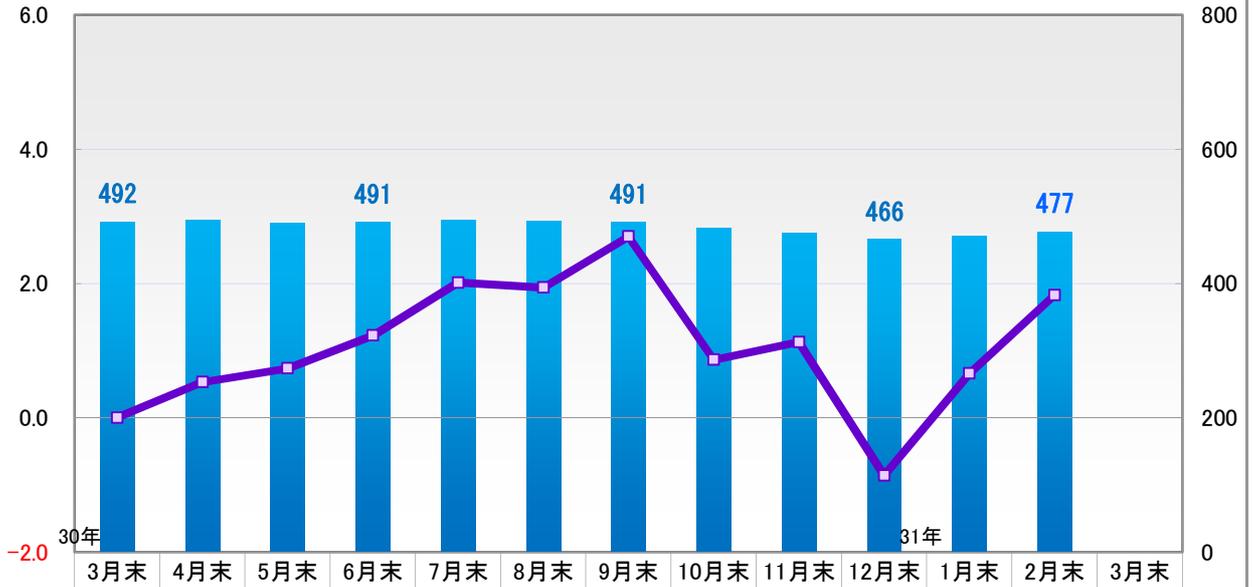
平成30年度 足元の運用状況（平成31年2月末）

年金資産残高：477億円

平成30年度 運用利回り：1.83%

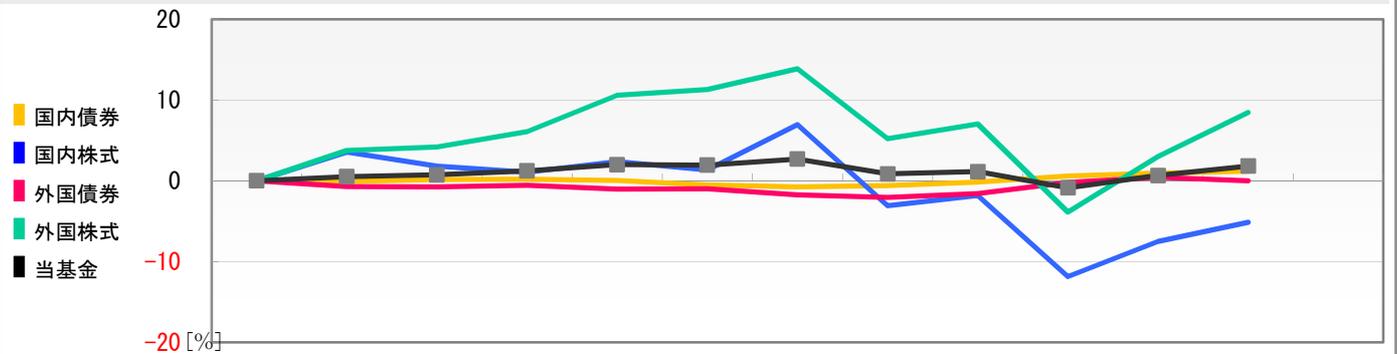
時価ベース利回り[%]

年金資産額[億円]



* 今年度も引き続き、代行返上に伴い基金に残った基本プラスα部分の清算を実施しています。

平成30年度の収益の推移



* グラフは通期、表は単月の利回りです。

資産運用の基本方針（概要）

基金制度は、掛金収入と運用収益で将来の給付を賄う仕組みです。掛金負担の安定及び効率的かつ長期的に運用収益を確保することを目的に、基本方針を策定しています。

最小のリスクで制度上の予定利回りを達成可能な政策的資産構成割合（下図参照）を定め、信託銀行や投資顧問会社等に分散して運用を委託し、債券や株式市場の他オルタナティブ投資(*)で運用を行っています。

今後もブレ幅の少ない安定した運用を心掛けてまいります。

国内債券	国内株式	外国債券ヘッジ有	外国株式	外株ヘッジ有	オルタナティブ
22.2%	2.4%	29.5%	17.0%	3.9%	25.0%

* オルタナティブ：株式や債券といった伝統的資産以外の資産の総称で、伝統的資産と異なる収益構造により市場の下落局面でも安定した収益が期待できます。ファンド・オブ・ファンズ、インフラ投資、保険リンク証券等が代表例です。